



令和4年度 初任総合教育第62期「卒業」



令和4年11月17日(木) 初任総合教育第62期生40名は、教育の全課程を修了し消防人としての第一歩を歩み出しました。

残念ながら卒業展示・卒業式は行えませんでした。第62期生のスローガンであった「錬華」にあるように、学生40名は皆が協力、そして切磋琢磨し大輪の華を咲かせたと思います。

今後はそれぞれの消防人生において、それぞれの大輪の華を咲かせてほしいと願っております。教職員一同、今後のご活躍を期待いたします。

訓練礼式

「指揮命令系統の確立」「安全管理」「和衷協同」を目的に、揃うまで何度も繰り返し訓練を行いました。



体力錬成

消防士に必要な体力錬成に積極的に取り組みました。中でも雨の中実施した宍道湖一周は、心身の鍛練そして学生間の団結を深めるものでありました。



消防錬成大会

「火勢鎮圧」「要救助者の検索救助」を想定し、8小隊が8通りの活動を自ら考え競い合いました。大畑(益田)、摸利(松江)、福間(安来)、岡田(江津)の小隊が見事優勝を果たしました。



救急訓練

救急訓練では、救急活動に必要な一刻も早い処置を必要とする傷病者を適切に搬送し、医療機関に引き継ぐために、座学、実技を積み重ねました。救命の連鎖の大切さを学ぶことができました。



救助訓練

安全・確実をモットーに救助訓練に取り組みました。人命救助のための知識・技術を学び日々鍛錬に努めました。



消防活動訓練

消防活動訓練では、実際の「火」を使い訓練を実施しました。なぜホースを早く延ばさないといけないのか、なぜ早く水を送らないといけないのか、刻一刻と燃え広がる実際の「火」を見ることが、一分一秒を削る大切さを学ぶことができました。



合同訓練

鳥取県消防学校初任総合教育第7期学生（18名）と合同訓練を実施しました。同じ目標や志を持つ者同士、良い刺激となる訓練で交流を深めました。



幹部教育初級幹部科第34期（11名）、特別教育部隊指揮研修（15名）と合同訓練を実施しました。実災害を想定した実りある訓練でした。



卒業にあたり

【消防学校長】

コロナ禍での教育となり、様々な制約、急なカリキュラムの変更や学生全員が揃うことが難しい中、学生にとっても大変な8ヶ月間であったと思います。こうした状況下でも学生達は、現実に向き合いながら努力を重ね、逞しく成長してくれました。

教育訓練に際しまして、ご理解ご協力いただきました関係する皆様方に感謝を申し上げます。

【梅瀬教官（初任総合教育：主担当）】

コロナ本格年の中、過去に例のない教育期間となりました。この期間で身につけた基礎と出会った仲間をいつまでも大切に、常に周りに感謝し、相手を敬い、自分に謙虚な人であり続け、大きく成長されることを教官一同願っています。いつまでも応援しています。



優秀賞 須山 航之介（松江消防）
長谷川 友飛（益田消防）
松本 海（松江消防）
橋口 祥也（江津消防）

【総代 長谷川 友飛（益田消防）】

私たちは『錬華』というスローガンを掲げ「ピラミッドは頂点から造ることはできない」という言葉に日々錬磨し、大輪の華を咲かせられるよう過ごしてきました。

最後は全員が顔を合わせることができませんでしたが、一人としてかけることなく全力で走り続けた日々をいつまでも大切に、現場で活躍できる消防隊員を目指します。



島根県消防学校

〒690-0046

松江市乃木福富町 735-157

TEL 0852-22-0166 FAX 0852-31-6993

Mail : syobogako@pref.shimane.lg.jp

